

事務事業名 中学校施設整備事業		所属部 教育委員会	所属課 教育総務課
総合計画体系	政策名 (IV)ふるさとを学び育つまち<教育・文化>	所属G 施設維持G	課長名 福間 央
	施策名 (26)学校教育の充実	担当者名 高島 章弘	電話番号 0854-40-1071 (内線) 2273
	目的対象 児童・生徒 意図 基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 0 1 5 0	中学校施設整備事業・中学校空調施設整備事業・中学校総務管理事業・中学校教育振興事業
	基本事業名 (079)学校の施設・設備の充実	項目 中事業 中事業名 1 5 0 5	中学校施設整備事業・中学校空調施設整備事業・中学校施設小規模修繕事業・中学校特別支援学級設置事業
目的対象 児童・生徒 意図 学習しやすい環境で学ぶ。			

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ )
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
前年度に実施した全中学校への修繕等要望ヒアリングを基に令和元年度実施計画を立案し、修繕・改修工事及び業務委託を実施する。また、計画外の緊急を要する修繕等についても適時実施する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R元年度実績 (R元年度に行った主な活動) 学校要望や緊急を要する修繕・改修工事 【主要な実施修繕・改修工事】 ・全中学校 特別教室空調整備工事 (音楽室・理科室ほか) ・大東中 校舎屋根瓦脱落対策修繕工事 ・海潮中 新設特支教室改修工事 ・加茂中 柔道場雨樋、網戸設置修繕工事 ・木次中 美術室系統給水管漏水修繕工事 ・三刀屋中 体育館照明修繕工事 ・吉田中 プール排水弁取替修繕工事 ・掛合中 新設特支教室空調整備工事	R2年度計画 (R2年度に計画する主な活動) 予定修繕・改修工事 【主要な予定修繕・改修工事】 ・大東中 教室照明器具修繕工事 ・海潮中 トイレ和式便器洋式化修繕工事 ・加茂中 校庭南面フェンス修繕工事 ・木次中 生徒用自転車置場塗装修繕工事 ・三刀屋中 屋内運動場雨漏り修繕工事 ・吉田中 2年生教室屋根劣化修繕工事 ・掛合中 トイレ和式便器洋式化修繕工事			
	② 活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	ア 修繕・改修工事実施件数	件	109	113	102	15
イ 修繕・改修工事把握件数	件	132	204	105	47	
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	② 意図 (対象がどのような状態になるのか)	ア 市内中学校数	校	7	7	7	7
		イ					
		ウ					
学校施設機能の維持・向上につながる	④ 成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)	
	ア 修繕・改修工事実施率	%	82.6	55.4	97.1	31.9	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
[R元年][中学校施設整備事業] 修繕費 6,853千円	財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	千円		483	12,399	
[H30繰越][中学校空調施設整備事業] 工事請負費 61,117千円 (国庫 ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金) (地方債 合併特例債)		千円		1,200	48,400	
[R元年][中学校施設小規模修繕事業] 修繕費 4,706千円		千円	11,073	13,505	15,941	5,924
[R元年][中学校特別支援学級設置事業] 修繕費 665千円 工事請負費 3,399千円		千円	11,073	15,188	76,740	5,924
		事業費計 (A)	千円	11,073	15,188	76,740
	人件費	人	2	1	1	
		時間	491	300	550	
		千円	2,002	1,300	2,332	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	13,075	16,488	79,072	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
学校施設・設備の老朽化が顕著となっており、修繕費が不足している状況である。また、設備については近年のニーズに対応できていない学校が多く、更新が求められている。	学校修繕要望ヒアリングの結果から必要性の高い修繕を優先し、効果的な実施に努めている。	和式トイレなど旧設備の改善が望まれている。また、雨漏り等の老朽化対策も急務となっている。

事務事業名	中学校施設整備事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合		
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合			
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由	施設の老朽化に伴い修繕が増加しており、予算内ですべての修繕対応ができない。現状、予算範囲内で最大限の修繕を実施していることから向上の余地はない。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由	安心安全な教育環境が維持できなくなる。		
C 効率性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	学校施設は教育委員会の所管であり、他事業との統廃合はできない。		
D 公平性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	修繕要望は年々増加する一方であり、事業費を削減することはできない。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	修繕要望は年々増加する一方であり、人件費を削減することはできない。		
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？				
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由	中学生の安心安全な教育環境を維持するための事業であり、公平・公正である。		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)		
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	学校施設は年々老朽化が進み、修繕なしでは維持できない状況にある。現状、限られた予算内において最小限の人員で最大限の成果が得られるよう修繕を実施していることから、本事業は適切に執行されている。		
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり				
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり				
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり				

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																			
	削減	維持	増加																		
向上																					
維持		●	×																		
低下		×	×																		
学校施設長寿命化計画等の施設維持計画を立案し、事業を実施していくことが望まれる。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																				